

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 3 部門第 3 区分

【発行日】平成30年7月19日 (2018.7.19)

【公表番号】特表2017-526753(P2017-526753A)

【公表日】平成29年9月14日 (2017.9.14)

【年通号数】公開・登録公報2017-035

【出願番号】特願2016-571093(P2016-571093)

【国際特許分類】

C 0 8 F 293/00 (2006.01)

G 0 1 N 21/80 (2006.01)

G 0 1 N 21/78 (2006.01)

G 0 1 N 21/64 (2006.01)

A 6 1 B 10/00 (2006.01)

A 6 1 K 51/06 (2006.01)

A 6 1 K 51/12 (2006.01)

A 6 1 K 50/00 (2006.01)

C 1 2 Q 1/02 (2006.01)

C 0 8 F 220/34 (2006.01)

C 0 8 F 8/30 (2006.01)

C 0 7 C 69/54 (2006.01)

C 0 9 K 11/06 (2006.01)

【 F I 】

C 0 8 F 293/00

G 0 1 N 21/80

G 0 1 N 21/78 C

G 0 1 N 21/64 C

G 0 1 N 21/64 F

A 6 1 B 10/00 E

A 6 1 K 51/06 2 0 0

A 6 1 K 51/12 2 0 0

A 6 1 K 50/00 2 0 0

C 1 2 Q 1/02

C 0 8 F 220/34

C 0 8 F 8/30

C 0 7 C 69/54 C S P Z

C 0 9 K 11/06

【手続補正書】

【提出日】平成30年6月1日 (2018.6.1)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

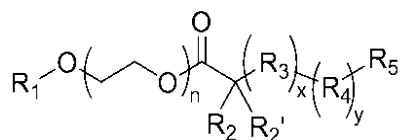
【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

式：

【化 1】



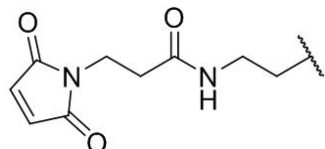
(V)

のポリマーであって、

式 (V) において、

R_1 は、水素、アルキル (C 1 2)、シクロアルキル (C 1 2)、置換アルキル (C 1 2)、置換シクロアルキル (C 1 2)、または

【化 2】



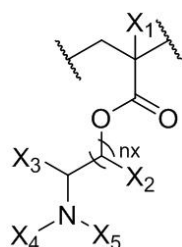
或いは金属キレート基であり；

 n は 1 ~ 500 の整数であり；

R_2 及び $R_{2'}$ は、それぞれ独立して、水素、アルキル (C 1 2)、シクロアルキル (C 1 2)、置換アルキル (C 1 2)、または置換シクロアルキル (C 1 2) から選択され；

 R_3 は、式：

【化 3】



(I I)

の基であり、

式 (I I) において、

 n_x は 1 ~ 10 であり；

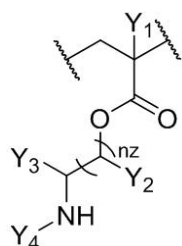
X_1 、 X_2 、及び X_3 は、それぞれ独立して、水素、アルキル (C 1 2)、シクロアルキル (C 1 2)、置換アルキル (C 1 2)、または置換シクロアルキル (C 1 2) から選択され；

X_4 はペンチル、 n - プロピル、またはエチルであり；

X_5 はペンチルまたは n - プロピルであり；

 x は 1 ~ 100 の整数であり； R_4 は、式：

【化 4】



(I V)

の基であり、

式 (I V) において、

Y_1 、 Y_2 、及び Y_3 は、それぞれ独立して、水素、アルキル (C_{1-2})、シクロアルキル (C_{1-2})、置換アルキル (C_{1-2})、または置換シクロアルキル (C_{1-2}) から選択され；

Y_4 は、水素、アルキル (C_{1-2})、アシル (C_{1-2})、置換アルキル (C_{1-2})、置換アシル (C_{1-2})、色素、または蛍光消光剤であり；そして

y は 1 ~ 6 の整数であり；そして

R_5 は、水素、ハロ、ヒドロキシ、アルキル (C_{1-2})、または置換アルキル (C_{1-2}) である、ポリマー。

【請求項 2】

Y_4 が蛍光色素である請求項 1 に記載のポリマー。

【請求項 3】

前記蛍光色素が、インドシアニングリーンである請求項 2 に記載のポリマー。

【請求項 4】

R_1 はアルキル (C_{1-2}) である請求項 1 に記載のポリマー。

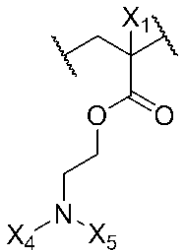
【請求項 5】

R_2 及び R_2' は、それぞれアルキル (C_{1-2}) である請求項 1 に記載のポリマー。

【請求項 6】

R_3 は

【化 5】



である請求項 1 に記載のポリマー。

【請求項 7】

X_4 及び X_5 は、それぞれペンチルである請求項 6 に記載のポリマー。

【請求項 8】

X_4 及び X_5 は、それぞれ n - プロピルである請求項 6 に記載のポリマー。

【請求項 9】

X_4 はエチルであり、 X_5 は n - プロピルである請求項 6 に記載のポリマー。

【請求項 10】

前記ポリマーが、 $PEO_{114} - P(D5A_{80})$ 、 $PEO_{114} - P(D5A_{100})$ 、 $PEO_{114} - P(DPA_{80})$ 、 $PEO_{114} - P(DPA_{100})$ 、 $PEO_{114} - P(EPA_{80})$ 及び $PEO_{114} - P(EPA_{100})$ である請求項 1 に記載のポリマー。

【請求項 11】

前記ポリマーが、 $PEO_{114} - P(EPA_{40} - r - ICG_1)$ 、 $PEO_{114} - P(EPA_{60} - r - ICG_1)$ 、 $PEO_{114} - P(EPA_{80} - r - ICG_1)$ 、または $PEO_{114} - P(EPA_{100} - r - ICG_1)$ である請求項 1 に記載のポリマー。

【請求項 12】

式：

[illegible]COCCOC(=O)C(C)(C)CC(C)(C)C(=O)OCCN1CCCCC1CC(C)(C)C(=O)OCCN2CCCCC2CC(C)(C)C(=O)OCCN3CCCCC3CC(C)(C)C(=O)OCCN4CCCCC4

【請求項 19】

細胞外の環境が腫瘍または血管細胞である請求項 17 に記載の pH 応答性組成物。

【請求項 20】

(a) 請求項 16 に記載の pH 応答性組成物を有効量で患者に投与する工程；

(b) 患者の 1 つ以上の光シグナルを検知する工程であって、その光シグナルは腫瘍の存在を示す、工程；及び

(c) 腫瘍を手術により切除する工程、を含む患者の腫瘍を切除する方法における使用のための、請求項 16 に記載の pH 応答性組成物。

【請求項 21】

前記腫瘍が、がんによるものであり、前記がんが、乳がん、頭頸部がん、または結腸直腸の腹膜転移である請求項 16 に記載の pH 応答性組成物。